



・明るく・温かく・明日に向かって

K J V A

高知県小学生バレーボール連盟

広報委員会通信

No, 28

令和7年2月2日

2024年度 日本バレーボール協会 競技者拡大プログラム

R7, 1.29 ソフトバレーボールであそぼう！

寒さが厳しい今年の冬ですが、この日はその寒さも少し緩み、室内スポーツを行うにはちょうどと思われるような1日でした。

そして、潮江第二双葉園のご厚意のもと、幼少期からのバレーボールの普及をねらいとした、上記の教室を予定通り行うことができました。

この教室は、日本バレーボール協会/日本小学生バレーボール連盟主催の事業で、保育園や幼稚園の子どもたちにバレーボールの楽しさを感じてもらいたいという願いを持って、毎年日本各地（7か所程度）で開いているスポーツ教室です。一昨年度は野市幼稚園、昨年度は野市保育所で行いました。そして、今年度は高知市潮江第2双葉園で実施する事になりました。

使うのは、風船と50gのソフトバレーボール。ソフトバレーボールはやわらかいボールを使って行うので、取り組みやすいスポーツです。また、ネットで仕切られていることで、相手との接触も少なく、危険性の少ないスポーツです。仲間とボールをつないで、相手コートに返すというプレースタイルですので、チームワークも学ぶことができます。マンガ「ハイキュー」人気や日本代表選手の活躍により、バレーボール人口が増えているこの機会にこそ、バレーボールのおもしろさを体験し、楽しんでもらいたいという願い、竹村と西内紗和副総務委員長そして横浜新町 JVC 関係者の方々によって、行ってきました。

双葉園の子どもたちは、今か今かと私たちの到着を待っていてくれました。そこで予定では午後1時30分からでしたが、私たちの準備ができると同時に始めることになりました。ひとりでの風船遊びから始まり、2人でのパス、そしてチョッと早く落ちてくるソフトバレーボールへの挑戦という順番で行いました。どのメニューにも、最高の笑顔と最高の歓声で向かい、ボールをはじき、追いかけてつないでいました。

「バレーボールというスポーツは不滅である」とそう確信した瞬間を、いっぱい感じることができました。

「今日は楽しかったですか？」「バレーボール、またやってみたいですか？」

という問いかけに、全員が間髪入れずに「はいっ！」と手を挙げてくれたことが、一番うれしかったです。仕事のやりくりをつけて、ここに来たかいたがあったなあと、と指導者一同、達成感を持って、幼稚園の門を出ました。

この教室は毎年四国で1カ所開催ですが、ここ数年他の3県が希望されていません。日本小学生バレーボール連盟からの補助（ソフトバレーボール15個と5万円）がある本教室、これからも高知県ですすんで開いていきたいと思えます。

ソフトバレーボール教室 フォト

最初は、風船遊びから始めました。



次にソフトバレーボールをはじくあそびをしました。



最後には、ネット代わりのひもをこえて、ボールをはじき合うゲームで楽しみました。



教室が終わった後には、使ったボール15個を保育園に贈呈。子どもたちにはお土産として、紙風船もプレゼント！

